

佐賀市

佐賀市と姉妹都市を締結している米国・グレンズフォールズ市のニューヨーク州立大アディロンダック校の大学生らが26日、佐賀市の西九州大神園キ

ャンパスを訪れ、和菓子作りを体験した。学生たちは細かい成形などに苦戦しながら生菓子やらくがんを作り上げると、抹茶とともに味わい、日本の食文化に触れた。

和菓子作りに挑戦

姉妹校
相互訪問

米・NY州立大生ら

日本の食文化に「ナイス」



和菓子職人から、らくがんの作り方を教わるアディロンダック校の大学生ら＝佐賀市の西九州大神園キャンパス



同校は姉妹都市締結を受けて西九州大、同大短期大、佐賀女子短大と1996年に姉妹校になり、1年交代で相互訪問している。この日は学生や教授ら

9人が、職人の指導を受けて和菓子作りに挑戦した。学生たちは箸の柄やへらを使って菊やアジサイをあしらった生菓子を成形。木枠で型押ししたタイやバラのらくがんが出来上がる。と、「ナイス」「ビューティフル」と歓声を上げてい

た。ステイーブン・リマーさん(22)は「作るのは初めてだったけど楽しかった」と笑顔だった。

和菓子作りに先立ち、一行は佐賀市役所を表敬訪問。御厨安守副市長は「学校生活やホームステイを通して、日本の文化や歴史の見

聞を広めてもらえたら」と歓迎の言葉を述べた。

一行は佐賀女子短大の学生宅などに約2週間ホームステイし、日本語の授業を受けたり茶摘みや弓道などの日本文化を体験、吉野ヶ里歴史公園を見学する。

(大塚堅志)